



運動会の時期になりました

ゴールデンウィークも終わり、子供たちは日々学校生活を楽しんでいます。今年の5月は雨も多く、暑い日もあり体調管理が難しく感じています。多くの欠席者がいるわけではありませんが、衣服の調整をしながら健康に過ごしてほしいと思っています。

さて、いよいよ運動会に向けての取り組みが始まります。実際には少しずつではありますが、始まっていることもあります。昨年度から春開催となり試行錯誤しながらの運動会となりますが、毎年取り組みを通したり、保護者の皆様からの御意見をいただいたりしながらブラッシュアップしていきたいと考えています。特に今年度からの大きな変更点として、「児童会活動への重要な位置づけ」と「体育科の授業の発表の場」の二つとなっています。これは、新年度始まって間もない時期の開催ということで、児童会による縦割り活動の充実を図り、全校児童が大明小学校の一員としての自覚と仲間意識を高めることを目的としています。また、学年としても普段あまり見ていただく機会のない、体育科の授業での学びの成果を発表する機会と考えています。昨年度反省から、子供たちにとって有効的な運動会の形を今後も考えていきたいと思ひます。運動会終了後は忌憚のない御意見、御感想をお寄せください。

安全第一！

ここ数週間児童生徒に関わる痛ましい事件、事故の報道を見聞きする機会が多くあります。学校への不審者の侵入、子供たちを巻き込んだ故意の事故等、明らかに子供たちを狙った事件、事故が後を絶ちません。前号でも学校として日頃より子供たちと一緒に考える時間を作ったり、各御家庭においてもお話しする機会についてお願いをしたりしました。しかし、それ以上の報道を見聞きすると、これ以上何ができるのだろうか？と限界を感じてしまうこともあります。学校でも引き続き安全指導はしていきますが、「自分の命は自分で守る」等と言ってはいられないのが現実ではないでしょうか。もちろん子供たち一人一人が自分の命について考えることは大切ですが、大人が子供たちの安全に対するリスクを、少しでも下げることが今まで以上に考えていかなければなりません。子供たちの安心、安全への対応はやり過ぎでも足りないくらいです。学校の周りを高い塀で囲ったり、子供たちの登下校を完全に保護者に送迎をお願いしたりすることは現実的ではありません。それでも学校においては玄関の施錠や、来校者への校舎内への出入り口の一本化などの対応をしています。しかし、それだけでは不十分であり、さらに安全確保のための取り組みが必要になります。そこで、PTA総会の折にもお話しさせていただきましたが、子供たちの登下校について、保護者の皆様にも御協力いただきたいと考えています。現在もボランティアの方々に支えられ、子供たちの安全を守っているわけですが、今後はさらに多くの大人が目、地域の協力を得ながらの取り組みが必要です。今年1年かけてどのような形がいいのか、保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。「後悔先に立たず」ということわざがありますが、できることはしっかりとやっていきましょう。御協力をお願いします。